

頭頸部癌患者と家族、医療者に対する緩和ケアチームの実践内容について

がん治療センター（緩和ケアチーム）

○近藤 恵子 掛田 恭子 北岡 智子 尾木 恭子
弘瀬 かほり

耳鼻咽喉科

中谷 宏章 兵頭 政光

【はじめに】

当院では診断・治療期、終末期等、様々な病期の頭頸部癌症例に対し、医師（麻酔科、精神科、整形外科）、がん看護専門看護師、薬剤師、栄養士、医療相談員等で構成する緩和ケアチーム（以下PCT）が、治療チームと共に入院前～退院後のフォロー期間を通し全人的ケアを行っている。

【目 的】

頭頸部癌患者と家族、医療者に対しPCTが行った実践内容を明らかにする。

【方 法】

過去2年間、耳鼻咽喉科、口腔外科からPCTへの依頼症例の診療録よりPCTの実践内容を抽出しカテゴリー化した（2007年：PCTへの総依頼数81例中12例、2008年4月～2009年1月：総依頼数93例中29例が頭頸部癌症例に相当）。

【結 果】

PCTはコンサルテーションを通じ「危機的心理（予期悲嘆のケアを含む）への介入・調整」「治療の選択をはじめとした意思決定支援」「集学的治療に伴う症状緩和」「癌性疼痛緩和」「精神症状（うつ病、適応障害、せん妄）の早期発見と治療」「社会支援（身体障害者手帳や介護保険の申請支援、代用音声機器や福祉用具の購入・貸付支援）」「栄養調整・指導」「薬剤指導」「リハビリテーション」「患者会の紹介」「機能喪失や治療に伴う療養相談」「電話相談」「家族ケア」「遺族ケア」「患者-医療者、医療者間のコミュニケーション調整」「緩和ケア教育」等、を行っている事が明らかになった。

【考 察】

頭頸部癌患者の支援は多岐に渡るため、多専門職からなるPCTとの協働が期待される。